十島村教育委員会だより 令和3年4月号

の表のなりが一方の一直

南北160km 「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育 十島村教育委員会 〒892-0822 鹿児島市泉町13番13号 TEL 099-227-9771



4月・・・転入教職員の赴任

十島村教育長 有 村 孝 一

4月1日、午後2時。転入教職員宣誓式が行われました。それに先立ち午後1時30分からは、新任校長・教頭の辞令交付式が役場で行われました。今年もやはりコロナウィルス感染症の影響があり、これまで新任校長につきましては、午前中に県教育委員会で行われましたが、校長・教頭ともに村教育委員会においての交付式となりました。

新たな希望に満ち溢れている先生方に私は、「新た な気持ちでそれぞれの任地に向かうわけです。お気 持ちはいかばかりかと思います。まだ見ぬ地に思い をはせてみると、豊かな大自然に囲まれた、トカラ の島々が目に浮かんでくるのではないでしょうか。 この地で先生方は、校長職及び教頭職をスタートす ることになります。教職人生において忘れることの できない思い出の地になることと思います。最初は、 なかなかわからない事だらけで、思うに任せないこ ともあると思いますが、『あせらず、あわてず、着実 に』その職務を実施していっていただきたいと思い ます。」と申し上げました。また続いて行われました 転入教職員宣誓式も同じメンバーでしたが、「7つの 島それぞれに特徴があります。十島の大自然が皆さ んを迎えてくれることでしょう。不安もあることで しょうが、そこには、先生方を待っている子どもた ちがいます。どうかよろしくお願いします。」と挨拶 をいたしました。また、肥後村長より、「先生方が来 るのを、島民や子どもたちは心待ちにしています。 早く島の生活に慣れていただきたい。| と歓迎の挨拶 がありました。



船は、4月2日の出航の 予定が、荒天のため2日延 期になり関係の方々の計 らいで、5日の日曜日に出 るという大変珍しいこと になりました。

5日は、事前にお願いしていましたので、混 雑することもなく家族等の見送りを受けて28人 の先生方を乗せた「としま2」は、トカラへ向 けて出航していきました。必ずや学校に新しい 風が吹くことでしょう。この中には、2人の新 規採用教員もいました。そのおふたりには「鹿」 児島県の方で神奈川県、福岡県でそれぞれ教員 をしてましたが、この度帰ってこられたわけで す。そこには、鹿児島の子どもたちを教えたい という強い思いがあったことだろうと思います。 その思いを、大変小さな島ではありますが、新 規採用の先生方が来てくださるというのは、島 の人々にとっても大変にありがたいことです。 どうか若者らしく、はつらつと島の生活も楽し みながら、子どもたちのために頑張っていただ きたいと思います。」と言って 送り出しました。

船は、少々時化たようですが、 皆さん無事に着任しました。

今年度も「さわやかトカラ 情報」を村内全世帯にお届け します。一読をお願いいたし ます。

十島村社会教育学級

~ 学 び の 風 ~

各島には、それぞれ社会教育学級があります。この学級の企画や運営については、主に教頭先生に学級主事をお願いして、例年年間10回程度の講座を開設していただいています。(昨年度は、5回程度)

社会教育学級は、一般成人を対象とした学級で、 講座内容は、地域の方々の要望や現代社会における 課題、教養を高める内容、人生を豊かにする趣味的 な内容、健康に関する内容など、学級主事の教頭先 生方が工夫して開設していただいています。昨年度 は、コロナウイルス感染拡大防止の対策の中で、島 内の方々を講師に招いての講座が展開されました。

各島趣向を凝らした講座が今年も展開される予定

です。社会教育学級は、学校卒 業後の大人にとっての学びの場 です。今年も、多くの方々に参 加していただき、新たな生き方 の参考にして欲しいと思います。



【新聞に投稿】

令和3年3月23日 南日本新聞「若い目」掲載

く事ルを以受ちを 他をか席 てクに校 りのでし上賞を通各校質っし私も1相・私 を質はなに校ひし校の問たたた驚ル当中の にしての答さ しめ3ば域るし校開をたや典り てて位なににとやに聞 だら密つ感地特い他労新 てたのや私 `思域くら力だ驚様 こっに感でをわ を形 3初ン校 をれた愛じあ伝りた 一しに 位めク新 問番てな す足の新はれと た規全 せコ聞もはい学 こ模国全 新ずンづっ、う校 との第国 にクくと上気新 にコ3小 づ記しり今位持聞 どし出 とン位学

令和3年3月17日 南日本新聞「若い目」掲載

いが使た んでし知にしすには困きかピ行う「ま きなっ点流 °はまらはたがはごっので | 語のパすみ 、兄た感きアをはりかな たいたも行 口流 いよりあ語 こうかが行に、「面がすっう こすん通語は、」もし。にと うりに な 二るちじで全 °にと葉 でおやをい 分り なた わかがとが流ろり必略 らすなが 石 りが °使かなせそ `るなす まこったいんう草たは今こ っこま用 せれてを人でで」の `どとス流いやり

令和3年3月17日 南日本新聞「ひろば」掲載

が帽集イ た口何た 掛すをく も悪今章のンそ 度がまけ 。詳ま世 たま私 頑石もや表しれ 、たま 時しと界発本しは 張島使バ紙たで めに見紙た四 元石 つのわッに図特 論が章が 「説て誇 て子れジ初柄産 若明あ 3 宝を一れ、一読十で上前 ほどて類めにの しもいはて決ダ 中の いたる作使まイ とちとれっりミ 付悪 たよた 欄ったゼ うの石悪 思がわなた がくい由 、覚た来 りれ「島石 い勉かかの昭ウ っで和ダ しわ小島 しに感たす五ケ た運激の トいなし学学 しで 動 りた校校 にます ちのに `しが の中 投か体と こた てたふ童任 稿っの ħ で字会ま をたボも るがし しゃでしる見でゼよ

十島村で学ぶ

【 悪 石 島 で 学 ぶ】 悪石島小学校6年 有川 美優

「島の看護師になるために」

私は、悪石島で生まれて、悪石島で育ちました。 私は、この島が大好きです。特に、自然が豊かで、 晴れた日には、「御岳」や「やすら浜港」の色が、太 陽のようにかがやいています。また、島民の方々が、 とても優しく、私が登校中に「おはようございます。| と言うと、「おはよう。学校がんばってね。」と、笑 顔で送り出してくれます。 私の夢は、看護師です。 きっかけは、昨年手術をしたときのことです。初め ての手術で、とても緊張していた私。そんなとき、 担当してくれた看護師さんが、「麻酔をしているから 痛くないよ。」「緊張しないでも大丈夫。」と、笑顔で 声をかけてくれたのです。その言葉で、とても気持 ちが落ち着き、安心して手術を受けることができま した。 また、私にとって大切なのが、姉の存在で す。同じ夢をもつ姉が、冬休みの間、家で必死にな って病気の名前について調べていました。それを見 ていた私は「お姉ちゃんががんばっているのだから、 |私もがんばらないと。| と、看護師への思いを強く抱 くようになりました。私は、将来、患者さんが笑顔 になれる看護師になりたいと思っています。そして、 いつの日にか、悪石島にもどり、島の診療所で、家 族や島の方々のために働きたいです。 やっぱり私は、この悪石島が大好きです。

【口之島小・中学校からのメッセージ】 教諭 中村 梨花

口之島に来て1年が経ちました。夜の23時に出港し、朝5時の真っ暗な闇の中、訳も分からず港に降りたときは正直不安で仕方がありませんでした。 そんな私の不安を取り除いてくれたことがありました。

1つめは、教室から見える景色です。毎朝、生徒が換気のために開けた窓から見える海は故郷の海を思い出させ、「今日も頑張ろう」と背中を押してくれているようでした。

2つめは、朝に出会うと「いってらっしゃい」といつも声をかけてくれる島民の方との触れ合いです。温かく、優しく響くその声に力をいただき、今日も口之島の子どもたちのためにがんばろう、自分にできることを一生懸命やっていこうという気持ちが湧いてきました。

あの不安いっぱいだった私は今はもういません。 これも、口之島の優しく包み込んでくれる雄大な自然と、そこに住む方々の温かさが、ここでの私を成長させてくれているのだと思います。 周りに支えられていることを忘れず、口之島の子どもたちのために、教育に全力で向き合っていきたいと思います。

『教職員仲間であるあなた』への 私からのメッセージ

楽しい十島村での生活は、私にとって、とても大切な時となっています。SNSが発達している世の中ですが、先生方と顔を合わせて、研修ができる日を楽しみにして、さらに楽しい十島村の生活にしていきましょう。